講義名	ブライダルコーディネーション論Ⅱ				授業形態	
担当教員	道前　美佐緒	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 ４時限			
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	BRL260

主題と概要

　ブライダルコーディネーション論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（以下BC論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）をとおして受講することで、日本ブライダル文化振興協会（BIA）認定アソシエイトブライダルコーディネーター検定（以下ASS）及び、国家検定ブライダルコーディネート技能士３級取得に相当するブライダルの基礎知識を習得することができます。
　BC論Ⅰに続く本講義では、披露宴の基礎知識とプロデュース能力を習得します。結婚式に比して、披露宴は、料理・飲料・ケーキ・引き出物・会場装飾など、多様な要素で構成されており、その準備には数か月の期間と数回の打合せを要します。本講義では、打合せの手順と多様な商品知識を得ることができます。また、既存の商品を提案するだけではなく、常に新奇性に富んだ商品を企画し、カップルの個性を表現する演出を創造することが求められています。
　そこで、学学で得た知識を活用し、模擬披露宴のプロデュース実習を行います。各チームごとに、自由な発想で魅力あるプランニングに取り組みます。また、プランニングした披露宴を、施設や時間の制約の中で、すべての顧客に満足していただけるように運営する必要があります。そうした実習を通して、披露宴は新郎新婦にとって新たな人間関係を構築する場であり、そのプロデュースをとおして、自身のコミュニケーション能力やチーム貢献力を高めることができます。

到達目標

1.披露宴の構成を理解できる。
2.ウェディングプランナーの打合せ業務を理解し、必要な知識を習得できる。
3.料理・飲料・衣装・引き出物など、関連用品の基礎知識を習得し、手配業務を理解できる。
4.模擬披露宴のプロデュースを通して、発想力、発信力、チームコミュニケーション能力を高めることができる。
5.婚姻をとおして形成される社会関係を理解できる。

提出課題

平常レポート　グループワークの振り返りと、自身の視点での考察をまとめてください。
期末レポート　模擬披露宴のプランニングについてのレポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

　レポートは授業内でフィードバックします。

評価の基準

平常レポート　３０%
期末レポート　７０%

　授業中のリアクションペーパーや毎回の課題への取り組みは、授業への積極的な参加と同義とみなし、その内容を重視します。授業外学習課題の内容は、各自が採集、選択した事例に対する考察レポートを1回提出していただきます。
　授業中の私語や飲食（水分補給やのど飴を除く）などは、周囲の人々にとって迷惑な行為を発見した場合、教室を退室していただきます。その場合、当該授業は欠席となります。

履修にあたっての注意・助言他

　ASS検定合格には、ブライダルコーディネーションⅡ、Ⅲ、及びブライダル事業論を履修し、知識を修得することが必要です。ブライダル情報誌やＳNS、あるいは、身近な人の体験からブライダルの情報を収集することを心がけてください。
模擬結婚式のプロデュースでは、自分の役割に応じた責務を果たしてください。

教科書

.ブライダルコーディネーターテキスト（スタンダード.	（公社）日本ブライダル文化振興協会	（公社）日本ブライダル文化振興協会	3850	00000

参考図書

.なし.				

その他

授業計画

第１回：披露宴のプランニング
　一般的な披露宴の進行を理解する。
　予習内容：ブライダルコーディネーション論Ⅰの講義資料・ノートを確認・復習する。（120分）
　復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
第２回：披露宴の関連アイテム①
　招待状、席次表などのペーパーアイテム、テーブル装花、テーブルコーディネートなどの基礎知識
　予習内容：講義で指定されたテキスト・資料を講読し、情報を収集・分析したうえで、授業に出席する事（120分）
　復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
第３回：披露宴の関連アイテム②
　料理・飲料・ウエディングケーキなどの基礎知識
　予習内容：講義で指定されたテキスト・資料を講読し、情報を収集・分析したうえで、授業に出席する事（120分）
　復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
第4回　ゲスト参加のウエディング
　ゲスト集視型のプランニングの工夫を知るとともに、ゲストの立場におけるマナーを学びます。
　予習内容：講義で指定されたテキスト・資料を講読し、情報を収集・分析したうえで、授業に出席する事（120分）
　復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
第５回：披露宴のプロデュース①モデルカップルに合わせたプランニング
　ウェディングテーマを設定し、オリジナル演出を考案する。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第６回：披露宴プロデュース②
　進行表を作成し、儀礼に必要な小物や道具をピックアップする。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第７回：　披露宴プロデュース③BGMと台本とアイテムデザイン
　進行表に合わせてBGMを選曲し、台本を作成し、必要な小物のデザインを行う。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第８回：披露宴プロデュース④司会コメントとBGM、
　BGMを生かした演出効果と、司会、音響、プランナーとアテンドの連携を学ぶ
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第９回：披露宴プロデュース⑤進行確認とアイテム制作
　プランナーを中心に、全員の役割を確認する。また、アイテムを制作する。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第１０回：　披露宴プロデュース⑥各チーム通し練習
　プランナーを中心に自主的に練習する。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第１１回：披露宴プロデュース⑥各チーム通し練習
　プランナーを中心に自主的に練習する。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第１２回：　披露宴プロデュース⑦各チームリハーサル
　リハーサルを行い、改善点を委げ　ブラッシュアップする。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第１３回：模擬披露宴Ａ
　Ｂチームをゲストとしてａチームが披露宴をプロデュースする。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第１４回：模擬披露宴Ｂ
　Ａチームをゲストとしてｂチームが披露宴をプロデュースする。
　予習内容：グループワークで扱う課題に対し、各自で情報収集し、論点を整理しておくこと（120分）
　復習内容：グループワークで決定した議案を確認し、問題点や今後のタスクをピックアップし、自身が担当した課題を行うこと。（120分）
第１５回：振り返りのディスカッション

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

　この科目は、ブライダル関連企業での就業に必要な知識を学び、ASS及び、国家検定合格へ導くものです。
　模擬人前式プロデュースを通して、マナーやコミュニケーション能力、提案力、組織運営力を養うことは、本学の学位認定・学位授与の方針と一致します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

　テキストの内容に基づき情報収集したうえでのディスカッションやグループワークを行います。それらを通して、新たな発想や他者理解の視点を得ることができます。

実務経験の有無及び活用

　実務経験あり。
（公社）日本ブライダル文化振興協会任命　ブライダルコーディネート職種技能検定「指定試験機関技能検定委員」ブライダルプロデュース会社経営、結婚式場顧問など、ブライダル業界を中心に広く企業の人材育成を担った経験を活かし、これからのブライダル業界に求められる発想力や実行力を養います。

備考